

くじ引きの計算式の詳細表示

電子入札システムに組み込まれた「電子くじシステム」は、次のような手順で落札者を決定します。

同価格での入札者が3者の場合の計算

- (1)入札書提出時に任意の3ケタのくじ申込番号を入札参加者に入力してもらいます。
- (2)電子くじシステムが乱数を発生させ、くじ申込番号に足します。
- (3)その番号の下3ケタをくじ番号として各入札参加者に割り当て、入札書受信確認通知画面に表示します。

入札参加者	くじ申込番号	乱数	くじ番号=(くじ申込番号+乱数) 入札書受信確認通知画面に表示
A	123	254	377
B	456	593	049
C	789	618	407

- (4)開札時に、最低価格での同価格の入札が複数あれば、入札書が到着した順に、0, 1, 2と番号を割りあてます。

入札参加者	入札書到着日時	到着の番号
A	H15.6.26 12:00	0
B	H15.6.26 14:30	1
C	H15.6.27 09:35	2

- (5)くじ番号の合計を業者数で割った余りの数字が落札候補者を決定します。

$(377 + 049 + 407) \div 3$ の余り 2 (合計は 833)

- (6)入札書の到着順の番号と「余りの数字」が一致した者が落札者となります。

落札業者は C

○くじ申込番号を申し合わせても乱数により、結果は予測できません。

○また、開札までくじ番号も入札参加者数や入札金額も判りません。

○くじ申込番号は、入札参加者が自由に入力できるので、参加実感が得られるとともに恣意的でない、公平なくじ引きを行えます。

戻る